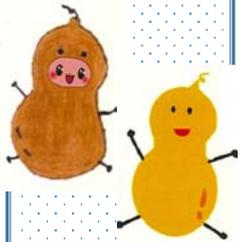


かわら版 いわしろう



上の岩代マスコットの名前を募集中です!

「百目木で一軒。目標は続けていく事です」
〜東屋菓子店〜

百目木で和菓子店を営み、地元の人々に親しまれている東屋菓子店。お店の2代目、佐々木勝男さんにお話を伺いました。

Q お店の歴史について

父がここに店を開いたのが昭和48年頃。それ以前に祖父が新殿で和菓子作りをしていて、末っ子の父に和菓子作りを受け継がせてくれたのがきっかけです。私は小学校3年生までは新殿



Q 菓子作りのこだわりとは?

和菓子作りについては祖父から父、父から私へと受け継いだ製法を守り続けています。小豆は北海道の十勝産のものを使用し、あっさりとした上品な風味が特長です。こし餡を作るには、小豆の皮をとるなど工程がより複雑ですが、小豆を煮ている間ずっと大鍋を見守る役目を今も高齢の母がしてくれています。

Q お店の和菓子について

うちの和菓子を食べると、よく「懐かしい味」と言ってくれます。懐かしい味、そう感じるんですよ。他に、日山が県立公園に指定されたのを記念して「ひやま富士」が、産業文化祭の新生商品として「山つつじ」が誕生

しました。そして数年前に加わったのが「ちびまん」です。



Q 今後の抱負について

現在、息子も菓子職人として修行をして店を手伝っています。今年はコロナ禍の影響もあって花見シーズンが忙しさもなく、売り上げが低迷している状態なので、将来、息子に3代目として家業を継いでもらうべきかどうか、正直なところ悩んでいます。

とにかく今は、父から託されたこの店を続けることを目標にしています。岩代地域の皆さんには、これからも時折、お店に立ち寄っていただけたら嬉しいです。

取材を終えて

お話を伺ううちに小豆が煮えるなんともいえない懐かしい香りが漂ってきました。昔ながらの菓子

<秋のイチオシお菓子メニュー>

- ★まんじゅう：昔ながらの茶饅頭
- ★本練羊羹：羊羹を竹の皮に包んでおくと、周りの砂糖が固まって、二通りの美味しさが楽しめます
- ★ひやま富士：上品な白あん入り
- ★どら焼き：卵入りのふわふわ生地が特長。焼き立ても美味しいです
- ★ちびまん：黒糖が香る一口サイズ。和菓子離れの傾向のある若い世代にも受けています

作りへの一途なこだわり。それが東屋さんの魅力だと改めて感じました。そしていつまでもこの懐かしい味を岩代地域に残していってほしいと思いました。

- ◆東屋菓子店◆
- 住所…百目木字町220
- ☎0243-5612414
- 営業時間…7時〜19時頃
- 定休日…不定休

【今号のクイズ】

小豆の皮のその後は?

こしあんを作る際に小豆の皮がバケツ大盛1杯ほどでてきますが、東屋さんではそれをどうするのでしょうか?



答えは次号にて!

I Love Iwashiro ③
台松塚館跡公園

岩代を愛する人がすすめる地元の魅力あるスポットを紹介いたします。三回目は、杉沢の台松塚館保存会の会長、相馬市郎さんと会計の相馬栄一さんです。

「『地元の人々はもちろん訪れる人に憩いの場となる公園を』と7年前に杉沢地区に誕生したのが台松塚館跡公園です。もとは杉林の山だったところを開拓し造成されたこの公園には、四季折々の花が咲いています。」

この場所の魅力は、もう一つ、その歴史にあります。千百年ほど前、坂上田村麻呂が蝦夷平定の際にこの地に逗留し、戦いの指揮をとりながら座ったと伝えられる石が祀られています。ま



★主な花木の見ごろ時期★

- 【春】桜、菜の花、水仙、ハナモモ、レンギョウ、つつじ、さつき、花こぶし、山ぼうし、紫陽花
- 【夏】サルズベリ、むくげ、コキア
- 【秋】コスモス、紅葉、曼殊沙華

★冬は空気が澄み切って、山並みが鮮明に見えます！



◇紹介してくれた方◇

～相馬市郎さん(写真右)～
台松塚館保存会・会長
～相馬栄一さん(写真左)～
台松塚館保存会・会計



た戦国時代には小浜城の出城として重要な役割を果たしてきました。現在、公園の丘の上には歴史にゆかりの石や石仏、石塔などが鎮座しています。四方に山並みを見渡せる丘の上からの眺めは季節やお天気によつて表情を変え、素晴らしいの一語に尽きます。毎年、元旦の朝7時頃に甘酒を配っていますので、初日の出を見にぜひ来てください。『希望の鐘』を鳴らして、一年の平穏を祈っていただけると嬉しいです。」

☆地域おこし協力隊員奮闘記

実りの秋。10月中旬、田園は、黄金色の稲穂の光景から農家の方々が忙しく稲刈りを行っている姿へと変わっています。同じく、そばも刈取り時期を迎えています。

2月からさくらの郷で勤務している内山祐樹地域おこし協力隊員にとって、収穫作業は初めての体験。

そばは刈る時期に大雨や強風が吹くと、そばが倒れ収量減ってしまいますが、今年は天候に恵まれ、豊作とのこと。

さくらの郷では、新そば祭り(11月14・15日)を企画しています。

内山隊員は「農家の皆さんのご協力により昨年より多く収穫できそうです。いわゆる高原産そば粉を使った新そばを多くの方に食べてもらいたい。そば打ち技術の習得に精進していきます。」と抱負を述べました。

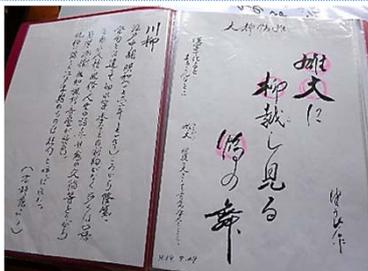
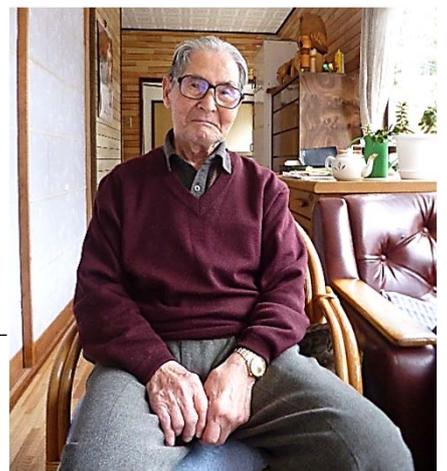
また、食堂の新メニューも考案中で、今後彼の活躍に期待します。



長生きの秘訣は「ちりばめ句」！

百目木字向町の大柳鶴雄さんが、来る9月29日、99歳の誕生日を迎えました。先日、その長寿の秘訣を伺いに、お宅を訪問させていただきました。

- 秘訣その① 趣味をもって楽しむ！
→「ちりばめ句」を長年、執筆しています
- 秘訣その② 家族として家事を分担する
→現在も毎朝、晩とみそ汁作りをします
- 秘訣その③ 早寝、早起き、散歩の習慣



▲友人や知人の名前をちりばめた川柳集「ちりばめ句」を13年前から詠んでいます。その数、合計約300人2442首でした。皆さんの名前の句も見つかるかもしれません！